



小池百合子 衆議院議員 (自民党総務会長)

今、財源の話が出たが、私は毎年、毎年の大会に出席しても、毎年、毎年予算が削られていく。これは、私が考えるに、社会保障費の自然増を公共事業の削減で何とか辻褃を合わせようとしていることに、既に無理があるのではないかと。それなのに高速道路の無料化などという政策は、全く納得がいけない。私は、これに逃げずに、我々もそうだが、キチッと消費税論議というものをやって頂かないと私は困ると思う。社会保障費の増というのは、そういう中で考えていくべきものではないかと私は考える。

性化、雇用、産業を興すというところから国の立て直しをしなければならぬ。私、出身は土佐の高知県だが、坂本龍馬がもし今、この会場においたら、こう言ったでしょう。「国づくりの基本はふるさとづくりである。ふるさとづくりのためには、道路の予算を削る以上、削ってはいかんぜよ。みんな力を合わせて、国を動かす、そしてふるさとを良くせよ」といかにせんよ」と言ったと思う。これは龍馬の話、ドラマの話ではない。実際の地方の声を、個人の力で国が動いた。是非、国づくりの根幹である道路財源の確保のために、みんな一生懸命、頑張ろうではないか。



中谷 元 衆議院議員

【中谷 元 衆議院議員(自民党)】
今の日本、これ以上、福祉を充実し、負担を国民に強いるというのでは決して良くはない。やはり、富を生む、国をつくる、地方をつくる、そういうところに財源を配当して、地方の活性化、雇用、産業を興すというところから国の立て直しをしなければならぬ。私、出身は土佐の高知県だが、坂本龍馬がもし今、この会場においたら、こう言ったでしょう。「国づくりの基本はふるさとづくりである。ふるさとづくりのためには、道路の予算を削る以上、削ってはいかんぜよ。みんな力を合わせて、国を動かす、そしてふるさとを良くせよ」といかにせんよ」と言ったと思う。これは龍馬の話、ドラマの話ではない。実際の地方の声を、個人の力で国が動いた。是非、国づくりの根幹である道路財源の確保のために、みんな一生懸命、頑張ろうではないか。

【山本有二 衆議院議員(自民党)】
一言で言うと、先程の一括交付金化、これは中央政府がその機能を失うということである。そして、ふるさとの方々の発展の芽を摘むというところから国の立て直しをしなければならぬ。私、出身は土佐の高知県だが、坂本龍馬がもし今、この会場においたら、こう言ったでしょう。「国づくりの基本はふるさとづくりである。ふるさとづくりのためには、道路の予算を削る以上、削ってはいかんぜよ。みんな力を合わせて、国を動かす、そしてふるさとを良くせよ」といかにせんよ」と言ったと思う。これは龍馬の話、ドラマの話ではない。実際の地方の声を、個人の力で国が動いた。是非、国づくりの根幹である道路財源の確保のために、みんな一生懸命、頑張ろうではないか。

【古賀一成 衆議院国土交通委員長】
私も先程申し上げた通り、情熱を込めて道路というものを考え、政策を作り、諸外国にも何度も視察してきた。ただ、今、道路予算の確保の問題が出てくる。この問題についてもしっかりと向きに検討していかねばならない段階に入ってきたと思う。そして、私が申し上げるまでもなく、この道路と橋とを整理したが、6つぐらいあると思う。



山本有二 衆議院議員

【古賀一成 衆議院国土交通委員長】
私も先程申し上げた通り、情熱を込めて道路というものを考え、政策を作り、諸外国にも何度も視察してきた。ただ、今、道路予算の確保の問題が出てくる。この問題についてもしっかりと向きに検討していかねばならない段階に入ってきたと思う。そして、私が申し上げるまでもなく、この道路と橋とを整理したが、6つぐらいあると思う。

【立谷秀清 福島県相馬市長】
私の方から、今日のディスカッションの中で、大きな問題が2つ提言された。1つは社会保障費の財源の問題だと思われ、分権の積み立ててきた議論というものが踏まえてやらなければいけない。例えば、道州制の腹があるかどうかというところで踏まえてやらなければいけない議論だと思われ、これから道合協の中で新しいテーマとしてしっかりと探していきたい。



立谷秀清 福島県相馬市長

シヨンの下に、どっちの方向に進んで行くんだというような指針を元に、皆様方の地域でも同じだと思うが、方向性を明確にし、それに対してどれぐらい必要で、一括交付金がいいのか、税はどうするのか、そういう方法論については皆さんと一緒に考えて参りたい。先ずは目的を共有し、そして手段について明確な方法を取っていく、そのことを皆さんと分かち合う、こういうことではないかと。この方向性を持って、自民党、皆様方と共に進んで国づくり、地域づくり、そして安心・安全な町づくりに邁進して参りたい。永田町の女将からでした。



古口達也 栃木県茂木町長



姫井由美子 参議院議員

【古賀一成 衆議院国土交通委員長】
私も先程申し上げた通り、情熱を込めて道路というものを考え、政策を作り、諸外国にも何度も視察してきた。ただ、今、道路予算の確保の問題が出てくる。この問題についてもしっかりと向きに検討していかねばならない段階に入ってきたと思う。そして、私が申し上げるまでもなく、この道路と橋とを整理したが、6つぐらいあると思う。

【古賀一成 衆議院国土交通委員長】
私も先程申し上げた通り、情熱を込めて道路というものを考え、政策を作り、諸外国にも何度も視察してきた。ただ、今、道路予算の確保の問題が出てくる。この問題についてもしっかりと向きに検討していかねばならない段階に入ってきたと思う。そして、私が申し上げるまでもなく、この道路と橋とを整理したが、6つぐらいあると思う。

【古賀一成 衆議院国土交通委員長】
私も先程申し上げた通り、情熱を込めて道路というものを考え、政策を作り、諸外国にも何度も視察してきた。ただ、今、道路予算の確保の問題が出てくる。この問題についてもしっかりと向きに検討していかねばならない段階に入ってきたと思う。そして、私が申し上げるまでもなく、この道路と橋とを整理したが、6つぐらいあると思う。

【古賀一成 衆議院国土交通委員長】
私も先程申し上げた通り、情熱を込めて道路というものを考え、政策を作り、諸外国にも何度も視察してきた。ただ、今、道路予算の確保の問題が出てくる。この問題についてもしっかりと向きに検討していかねばならない段階に入ってきたと思う。そして、私が申し上げるまでもなく、この道路と橋とを整理したが、6つぐらいあると思う。

大西勝也 高知県黒潮町長

【古賀一成 衆議院国土交通委員長】
私も先程申し上げた通り、情熱を込めて道路というものを考え、政策を作り、諸外国にも何度も視察してきた。ただ、今、道路予算の確保の問題が出てくる。この問題についてもしっかりと向きに検討していかねばならない段階に入ってきたと思う。そして、私が申し上げるまでもなく、この道路と橋とを整理したが、6つぐらいあると思う。

小泉昭男 参議院 国土交通委員長

【古賀一成 衆議院国土交通委員長】
私も先程申し上げた通り、情熱を込めて道路というものを考え、政策を作り、諸外国にも何度も視察してきた。ただ、今、道路予算の確保の問題が出てくる。この問題についてもしっかりと向きに検討していかねばならない段階に入ってきたと思う。そして、私が申し上げるまでもなく、この道路と橋とを整理したが、6つぐらいあると思う。

【古賀一成 衆議院国土交通委員長】
私も先程申し上げた通り、情熱を込めて道路というものを考え、政策を作り、諸外国にも何度も視察してきた。ただ、今、道路予算の確保の問題が出てくる。この問題についてもしっかりと向きに検討していかねばならない段階に入ってきたと思う。そして、私が申し上げるまでもなく、この道路と橋とを整理したが、6つぐらいあると思う。

【古賀一成 衆議院国土交通委員長】
私も先程申し上げた通り、情熱を込めて道路というものを考え、政策を作り、諸外国にも何度も視察してきた。ただ、今、道路予算の確保の問題が出てくる。この問題についてもしっかりと向きに検討していかねばならない段階に入ってきたと思う。そして、私が申し上げるまでもなく、この道路と橋とを整理したが、6つぐらいあると思う。

大西勝也 高知県黒潮町長

【古賀一成 衆議院国土交通委員長】
私も先程申し上げた通り、情熱を込めて道路というものを考え、政策を作り、諸外国にも何度も視察してきた。ただ、今、道路予算の確保の問題が出てくる。この問題についてもしっかりと向きに検討していかねばならない段階に入ってきたと思う。そして、私が申し上げるまでもなく、この道路と橋とを整理したが、6つぐらいあると思う。

小泉昭男 参議院 国土交通委員長

【古賀一成 衆議院国土交通委員長】
私も先程申し上げた通り、情熱を込めて道路というものを考え、政策を作り、諸外国にも何度も視察してきた。ただ、今、道路予算の確保の問題が出てくる。この問題についてもしっかりと向きに検討していかねばならない段階に入ってきたと思う。そして、私が申し上げるまでもなく、この道路と橋とを整理したが、6つぐらいあると思う。